

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表日 令和8年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら総社東教室

保護者等数(児童数) 20名 回収数 21件(割合95%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからぬ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・けがをしないように置いている物を配慮していると思います。 ・きれいに整理されていて、活動がしやすい空間だと感じます。 ・狭いとは思いませんが、広いとも思いません。 ・限られたスペースできれいに仕切られていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内をよく見て頂いて、ありがとうございます。 ・限られたスペースを上手く使うように、活動に応じてパーテーションで仕切っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19			1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもきめ細かに見ていただいている。 ・手厚くみていただき、安心できます。 ・個別の課題は、1人ずつ先生がついて下さると聞いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた適切な職員配置をし、お子様を1対1+1名で支援しています。 ・職員は、保育士、幼稚園教諭、児童指導員、作業療法士など全員資格を持っています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・通い始めたころは外階段が心配でしたが、特に問題なく通えています。 ・子どもが楽しく過ごせるようなカラー配置だと思います。 ・仕方ないですが、階段があるのでバリアフリーは×。子どもにわかりやすく構造化された環境は○。 ・色分けや区切りでわかりやすくして頂いてると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご心配をおかけしております。外階段は、職員も気にしております。ドアの開閉時には職員が必ず見守り、階段方向への飛びだしがないようにしています。また、手を繋いで昇降することを厳守しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20				<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーションで仕切られていて、個別活動も適切に行ってくれている様子です。 ・きれいに清掃がなされていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が心地よく過ごせるように活動ごとにパーテーションで仕切っています。
	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20				<ul style="list-style-type: none"> ・今の子の状態に合わせて支援してくださって出来た事が確実に増えています。 ・個々に応じた対応がなされていると思います。 ・子供の成長に応じてできやすいことをやってくださっていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の『できた!』が増えると私たちも嬉しいです。そのためにも研修に積極的に参加して専門性を高めたり、職員同士で意見交換したりして情報共有をしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			2	<ul style="list-style-type: none"> ・何をしているか、毎回報告してくれるのがとても分かりやすいです。 ・遊びを通して、様々なことができるようになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムは、インターネットで『こばんはうすさくら総社東教室』で検索して頂くと載っています。支援プログラムに沿った支援内容になっていると思います。

適切な支援の提供	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いをいつも丁寧に聞きとってくださって、計画に取り入れていただいています。 ・懇談の時には、かなり丁寧に話を聞いて下さいます。 ・話を聞いて下さり、作成してくださっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも面談にお越しいただきありがとうございます。保護者の方々のお話があつてこそより良い支援計画が作れます。 ・面談はもちろん、連絡帳や電話等でお聞きしたお子様の様子をしっかりと把握し、支援計画書に反映させていきたいと思っています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもありがたい内容にしていただいてます。計画の内容も適切です。 ・知らないことは教えていただき、先々の不安が無いよう配慮していただいていると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。保護者の方々やお子様と同じ目標に向かって進んでいけたらと思っています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			<ul style="list-style-type: none"> ・はい。毎回の活動が今の娘に必要な内容ばかりです。 ・子どもはいつも楽しく通っており、その上でいつの間にか目標をクリアしています。 ・行われていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を元に全職員でカンファレンスを行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20			<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、様々な内容を実施してくださって感謝しかありません。 ・様々な催しを子どもも楽しみにしているようです。 ・毎週違う内容で、本人も楽しみにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週違う内容で活動をしています。季節のイベントや工作、音楽やSSTなど、個人で頑張るものからみんなで協力する活動まで様々です。 ・他児の良いところに気付いたり、自分もしてみたいと思ったりするきっかけになればよいと思います。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・このような交流に参加できておりません。 ・支援センターには行っていますが、活動はわかりません。 ・あまりピンときませんでした。 ・送迎の際に、様子をよく見ていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間の中で、他の事業所さんとの関わりは難しく、また希望されない保護者の方もいらっしゃいます。事業所内での集団活動を楽しんでいただけると嬉しいです。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20			<ul style="list-style-type: none"> ・説明ありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に、わかりやすく丁寧に説明するよう心がけています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20			<ul style="list-style-type: none"> ・ありました。 	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	2		<ul style="list-style-type: none"> ・参加できておらず残念に思っています。 ・茶話会では、とても楽しく意見交換をさせていただきました。 ・内容説明ありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所主催の研修会は行っていますが、市や県からの研修は、ご希望される方にお知らせしています。 ・ペアレントトレーニングは、日々送迎時や電話等でお受けしています。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の活動報告が楽しみです。 ・連絡帳を見るのが、毎回楽しみです。 ・電話等で丁寧に対応していただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時にお伝えしたり、連絡帳でたくさん伝えられるよう心掛けています。伝えたりないと感じた時には、電話をさせていただいています。 ・児発は、園送迎が多いため、保護者の方々との共通理解が不足しがちです。面談とは別に相談できる機会を作ろうと考え、1月から相談用紙を配布しております。是非ご活用ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・不安なことに丁寧に助言いただいています。 ・親身になって話を聞いて下さいます。 ・面談が定期的にあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとの面談に加え、1月から『相談用紙』配布を開始しています。不安な思いやちょっと聞いてみたいなということがあれば、ご記入ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・はい。とても寄り添っていただいています。 ・みなさんとても優しく、事業所の雰囲気も良いので、子どもにとって良い環境だと思います。 ・いつも共感していただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。
保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	4	<ul style="list-style-type: none"> ・参加できておらず残念に思っています。 ・保護者会等の開催○。兄弟向けイベント× ・イベントの案内がありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年春に茶話会を開催しています。案内は、連絡帳に入れさせてもらっていますが、他の書類と一緒に分かりにくかったかもしれません。申し訳ありません。 ・茶話会は、開催していますが、参加人数が少ないと感じています。皆さんが参加したいと思えるような会ができるよう、内容や時間等検討していきたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもの確なご助言を頂いております。申しわけなく思うほどです。 ・見学を申し出た際に、1番こころよく対応してくださった事業所です。 ・申し込みの際に見学させていただきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事があった時、すぐ対応できるよう体制を整え、職員間で連携を取っています。
保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の活動報告ありがとうございます。ただ、活動が可視化していただけると嬉しいです。 ・子どものことを理解して、目線を合わせた対応がなされていると思います。 ・ノートでのやり取りや振替の電話があつたりいつも早めにご連絡していただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見ありがとうございます。活動の見学をご希望でしたらお知らせください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・入所してから、見ていません。 ^お手紙でイベント等のお知らせがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNS等は発信しておりません。（申し訳ありません） ・1年間の活動概要や行事予定は、4月に配布し、遠足や茶話会、集団活動などの案内は、その時々に配布しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていますか。	19		<ul style="list-style-type: none"> ・何も心配ありません。 ・書類説明の際に取り扱いについて説明を受けています。 	

	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・説明いただきました。 ・されてると思いますが、細かく分けられたマニュアルまで、聞いても覚えられません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆様へは、契約時に説明しています。 ・マニュアルは、全職員に周知し、訓練もしています。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の様子もあり、感謝です。 ・教わったことを、子どもが家で知らせてくれます。 ・訓練のスケジュールは、毎回確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、避難訓練を事業所全体で行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・けがをすることなく活動しています。 ・2階の為、安全にできるように環境作りしていました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年5月に安全計画を作成し、全職員で安全対策に勤めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・説明いただきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな事故は起こっていませんが、子ども同士がぶつかったり、転んだりすることはあります。その場合は、速やかに対処（冷やす、休ませるなど）し、連絡帳に記入したうえ、園にもお伝えし、保護者へ電話連絡もしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・初回泣いていましたが、すぐに慣れたよううれしく思います。 ・職員の方を、とても信頼しているのが見てわかります。 ・『こばん行くー』と、毎回言っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。安心して話せる・過ごせる・頑張れる場所であります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみ、嫌がる、どちらの表出もありませんが、連絡帳での報告からは楽しんでいるようです。 ・『今日は行く日？』と、毎日のように聞いてきます。そうだと伝えると『やったー』と、喜びます。 ・通い始めは不安だったようですが、今は楽しみにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泣いたり、笑ったり、おしゃべりが止まらなかったり、日々お子様たちの様子はそれぞれ違います。どんな時でも、私たちは変わらず笑顔で迎え入れたいと思っています。楽しみにしてくれると嬉しいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・子も親も大満足です。（ただ、活動の様子が見たいというわがままがあります） ・子どもの可能性をどんどん広げていってくださっていると感じています。 ・いつも丁寧にノートを書いて下さり、様子もよくわかり安心しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子、見たいですよね。ご希望があればご相談ください。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日 令和8年 2月 20日

事業所名

こばんはうすくら 総社東教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備		1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・スペースが充分に使える人数のみの利用になっている。 ・利用児が多い日は机を移動したりついたてで仕切ったりするなど工夫してスペースを上手く使っている。 	
環境 ・ 体 制 整 備		2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人に対して一人の職員がつくように配置されている。 利用児に合わせてフリーの職員がつく場合もあり、予想外の出来事にも臨機応変に対応できるようにしている。 ・子どもたちが安心して過ごせるようにしている。 ・自由遊びの時間にも個別の対応ができるように努めている。 	
環境 ・ 体 制 整 備		3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動のエリア、個別課題をするエリア、遊びのエリアをパーテーションで区切り、何をする場所か分かりやすく集中して取り組みやすい環境にしている。 ・導線が張られており、マークや名前等でロッカーの場所が明確に分かるようになっている。 ・スケジュールカードで流れが確認できる。 ・職員が各自で支援カードを身に付けている。 ・課題部屋の入口に色カードを貼って、数字や平仮名がまだ読めない子どもにも認識しやすいようにしている。 ・外階段には両サイドに手すりを設けている。 ・室内はバリアフリーになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・階段の手すりは、真夏になると熱くなってしまう。以前はそれほどでもなかったが、近年の気温上昇で高温になるのが気になる。（やけどするほどではない）一度大家さんに相談したが、今のところ変える予定はないとのこと。階段を使用する前に、『手すりをもたず、先生と手を繋ぐ』ことを約束している。
環境 ・ 体 制 整 備		4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日掃除と消毒を行っている。 ・必要な物のみを置いているので整っている。 ・児発の手洗い場の蛇口に延長カバーを付けたことで、手洗い場の水漏れが減った。 ・子どもが来所する前に環境整備を行い、危険なものは落ちていないか、導線はスムーズかなどの確認をしている。 	<p>(昨年の問題点) 手洗い場の水漏れは、蛇口に延長カバーを付けて改善した。</p>
環境 ・ 体 制 整 備		5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーションで仕切られているので状況に合わせて使うことができる。 ・不適応行動を起こした際、別室でクールダウンすることができる。 ・それぞれの担当職員が判断して使用できるようにしている。 	

業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 日々の記録や朝礼、昼礼等で情報を共有しながら参画を行っている。 毎日振り返りをして改善点を挙げている。 誰でも発言しやすい雰囲気だと思う。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 保護者からのアンケート内容を職員間で共有し、意見等に対して改善につなげている。 受け取った評価表は職員誰もがいつでも閲覧できるようファイルに保管している。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や個別で意見を言える場があり、改善策を練り実施している。 毎日の昼礼で、職員の困っていること、支援の方向性の検討、支援の統一などがやりやすくなつた。 定期的に社員や非常勤などそれぞれに分けて話をする機会を設けてもらっている。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けのアンケートの実施や関係機関からの意見をもとに業務改善を行っている。 福山の事業所と定期的に研修を行っている。(虐待、ハラスメントなど) 2, 3か月に1回の割合で本部からSVが来て、評価をしてもらい改善につなげている。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 発達支援に関する研修等に職員が参加している。 動画やオンライン、職場内等で研修がなされている。 希望する研修に参加できるよう、業務の調整を行ってもらえる。 正規職員だけでなくパート職員も公開療育などの研修を受講する機会があり、参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加したい研修について、管理者と職員が話し合いをし、誰がどの研修に行くかを決めている。興味がある研修を自ら積極的探してに参加していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 支援計画ができたら、連絡帳と支援記録のファイルにコピーして貼ることで、すぐに確認できるようにしている。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 利用前、利用後、面談時等に保護者の意向を確認し、作成されている 面談前に保護者の方へ要望書の記入をお願いしており、それに合った目標を面談で組み立てながら支援計画を作成している。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 話し合いを行い、様々な意見のもと共通理解を図りながら計画が作成されている。 カンファレンスを行い、今の子どもの様子や目標に対してどのように取り組んでいるかなどの共通理解ができているか話し合いを行っている。 子どもの様子や課題(気になる点)を支援に関わる職員と児発管が普段から共有するようにしている。 	<p>(昨年問題点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児発管と現場の職員の共通認識の難しさは、カンファレンスを十分に行なうことで改善された。

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画に基づいて、個別課題(活動)の内容を設定している。 ・支援計画に沿った個別課題を作成したり、支援計画のどの部分に該当する支援かを共通認識するようにしている。 ・常にそれぞれが確認できるようになっている。 ・特に変わった項目などは話し合いの時に伝えられている。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・NCプログラムで発達の状態を評価し、活動内容や支援に活かしている。 	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目ごとに目標や支援内容の設定が行われている。 ・面談、送迎、移行支援、その他問い合わせや園訪問、事業所見学などその時に必要な連携を行っている。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・立案はチームで行い、各担当者を決めていく。 ・翌週の集団活動の内容を報告会という形で職員間で共有してから実施している。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・週ごとにプログラムの内容を設定している。 ・過去の反省や利用児の様子に合わせて変化が加えられている。 ・年間の活動(集団)の見直しを行う日を設け、必要に応じて新しい活動に切り替えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定化はしていないが、そのため新たな活動探しに、職員が苦労している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜組み合わせている。 ・より良い支援を提供できるよう取り組んでいる。 ・集中して個別課題に取り組む時間と、集団活動で他者と関わり合って取り組む時間を設け、支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもによって、個別活動重視、集団活動重視など支援の重きを置くところが違うので、その子に合わせて支援計画を作成し支援している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼と昼礼で情報共有してから支援を行っている。 ・支援に入る職員全員で確認し、気になることがあればその場で話すようにしている。 ・子どもの動きに合わせて柔軟に対応してくださっている。 ・送迎等で内容の確認ができなかった時は、内容が分かる人が必ず伝えるようにしている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・昼礼で午前中の支援について気付いた点、共有すべき内容を話し合っている。 ・午後の児発についても、その時いる職員で、振り返りや明日起りそうな問題点を話し合うようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に誰でもが適切に答えることができるよう、日報や昼礼での情報共有を徹底していく。

22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日支援の記録をとり、次回の支援に活かしている。 ・職員がその日に応じた児童の記録をとり、それをもとに次の課題を考えたり支援の見直しをしたりしている。 ・集団や個別課題だけでなく、遊びや荷物準備、送迎時など様々な場面でのことを記録により改善につなげられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題内容だけでなく、その日話したことや友達との関わり方を見て、記録していくようにする。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方と子どもの成長を振り返ったり今後の課題等について共有する機会を作っている。 ・昼礼の中で、支援計画についての話ができるようになった。 	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員と連携し、子どもに関する情報を共有して支援をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管、管理者のみだけでなく、普段の子どもの様子を熟知している職員が参画するようにしていきたい。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関と連携を図り支援を行っている。 ・保育園や幼稚園、学校ともできる限り情報交換、共有できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力医療機関との関りが少ないと感じていたところ、先方から、情報共有しないかと話があった。 ・今年度は、園からの参観希望や支援方法の相談が多かった。どのような体制での参観にすれば、子どもたちの日頃の様子を直に見ていただきたい。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて園を訪問し、訪問先担当者と子どもの様子について共有している。 ・送迎時に相互の情報共有を行っている。 	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援会議を行い、情報共有、相互理解を図っている。 	
関係機関や保護者との連携	(28~30は、センターのみ回答)	7			
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・見学させていただき助言を受けている。 	
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。		7		

33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・連絡帳で家庭、園での様子や事業所での支援について共有し、保護者からの相談(困っていること)に返答している。 ・連絡帳や送迎時に児童の様子を伝えたり、面談でより詳しく発達の状況や課題について知らせたりしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・プログラムとしては設けていないが、茶話会を実施し、子育てや就学等に関する情報共有の場を設けている。	・主に市からの研修資料、申込書を事業所内に置いて案内している。事業所に送迎で来る機会が少ない保護者への案内方法を検討したい。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・送迎時や面談等で説明を行っている。 ・契約時に必要な情報や利用者負担額等について説明している。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・様々な観点を踏まえて作成されている。 ・面談等で意向の確認が行われている。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・定期的な面談で保護者の方と一緒に確認、同意をいただいている。 ・連絡帳、電話対応等で目標や前回の計画との変更点を説明している。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・定期的に面談を実施し、困っていることや就学に関する相談等に助言・支援をしている。 ・連絡帳で悩み相談や質問があった際にはすぐに回答し、場合によっては直接相談に応じている。	・6ヶ月に一度の面談時や日々の連絡帳で助言と支援を行っている。電話をくださる保護者もいらっしゃるので、時間を作って相談にのるようしていく。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・保護者同士や職員と交流できるよう、定期的に茶話会を開催している。	・茶話会は行っている。ただ参加者が少ないため、増やすための工夫が必要だと思うので、次年度は改善していきたい。
40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・迅速で適切な対応がなされている。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	3	・通信の発行やHP、SNSの活用はしていないが行事については紙媒体でお知らせしている。	・HPやSNS等の活用はしていないが、何らかの方法で保護者に活動内容をお伝えできたらと考えている。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報の記載があるものは必ず元の場所に戻したり、不要になったものは処分したりするようしている。 ・面談時、来客時には利用児の名札を外したり、個人名が記載されたもの(送迎表・配り物ファイイル)は裏返してふせたりしている。 ・配布物はミスが起こらないよう複数の職員で二重、三重のチェックをするようにしている。	

43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援など教材の提示方法などに配慮している。 ・絵カードやイラスト、ジェスチャー、手順書等を個々の状況に合わせて使いながら知らせるようしている。 ・日本語があまり話せない保護者の方には、活動内容を実物を見せながら知らせるようしている。 	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加することはあるが、事業所に招くことはしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事やイベントの参加はあるが、来所してもらう機会は設けにくい。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルを事業所内に掲示しており、いつでも閲覧できるようにしている。 ・研修、防災の訓練はしているが、防犯の訓練をもつとしたほうが良いと感じる。 	
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先月、実際に地震が起って避難をした。訓練と実際との違いに気付き、訓練と改善の必要性を感じた。
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に確認がとられている。 ・利用児の情報シートにも記載がなされている。 ・契約時に子どもの状況を確認し、子どもの情報を記載した一覧表を掲示し、全職員が確認できるようにしている。 ・保護者から預っている薬の保管場所や飲ませ方も確認している。 	
非常時等の対応	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から必要な資料や情報をもらい、一覧表にして職員の分かりやすい所へ掲示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的におやつの提供はしていない。イベント等で提供するときは、食品名が記載されたお知らせを配布し、保護者の確認を取っている。今後も継続していく。
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・施設点検が行われている。 	
	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な対応について共通理解を図りながら対応している。 	
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・発生原因や具体的な対応について検討し、同様の事案の発生防止に努めている。 ・報告書に書くとともに打ち合わせ時や朝礼、昼礼でも報告し、再発防止に向けた意識の共有をしている。 	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会が設置されている。 ・日々の関わりの中で不適切な言動が行われないように、研修等で人権意識を高め、職員同士が日々の行動や言動を点検し合いながら虐待防止に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、虐待に関する外部研修へ順番に参加している。内部研修は、年に2回全職員参加で行っている。今後も継続していく。

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・利用前や面談などを通して共有を図っている。	
----	--	---	--	------------------------	--